



New Normal

教育相談課 田邊 水江

新型コロナウイルスの感染拡大とともに、22年前に書かれた五木寛之さんの「大河の一滴」が多くの人に読まれているそうです。日本テレビ系列「世界一受けたい授業」でも紹介されていたので、ご覧になった方も多いかもかもしれません。

私が「大河の一滴」を初めて読んだのは、20年ほど前に小松高校に勤務していた時でした。2001年9月にアメリカで起こった同時多発テロとその後の報復攻撃で世界が混とんとする中、同僚の故青野千秋教諭は、その年の小松高図書館報で「大河の一滴」を次のように紹介されました。

『『大河の一滴』の中で、『前向きに生きることは悪いことではない。人間性を信じ、世界のヒューマニズムと愛をかけた積極的に生きることも立派な生き方である。しかし、一方で現代の人間そのものを悪と見て、そこから出発する生き方もあるのではないか。これまでの人生観を根底からひっくり返し、人が生きることは苦しみの連続であると覚悟するところから出直すべきではないか』と説いている。そして、寛容・融和・あいまいという価値観を提唱し、あれもこれも、生も死も、光も影も、喜びも悲しみも、みんな抱え込んで、生じる混沌を認め、たおやかな融通無碍の境地をつくるのが、不安と無気力がただよう時代の空気にエネルギーを与えるのではないかと予見している。何か感じさせられるものはないだろうか。(中略) ともかく、貧困・宗教・文明の対立から、世界は新たな秩序を余儀なくされた。このことは、人々の人生観・価値観をも転換せざるを得ない意味をもって、21世紀に課された宿命と言えそうである。このアノミーな状況の中、作家の持つ人間観は鋭く、説得力があり、たおやかに、融通無碍に生きる心の糧となる。』

新型コロナウイルス対策で制限されていた学校の活動も、通常の活動に戻りつつある一方で、感染防止のため、「3密」の回避など、新しい生活様式を定着させる **New Normal** も求められています。そのような厳しい状況でも、「たおやかに、融通無碍に」毎日を過ごすことで、少しずつ、以前の生活スタイルやリズムに近づいていくことができるよう願っています。

* 融通無碍(ゆうずうむげ)・・・考え方や行動にとらわれるところがなく、自由であること

令和２年度 ７月行事予定

日	曜	行	事
1	水	期末考査発表	２年生小論文模試⑥限
2	木	いじめ問題対策委員会18:00～	第2回PTA常任委員会19:20～
3	金	租税教室（3-2②限）	
4	土	食物調理技術検定１級（3-4ライフ）	
5	日	第64回ビジネス文書実務検定試験	
6	月	語の日	
7	火	校納金引落	
8	水	↑期末考査	
9	木	尿検査二次（予備日）	
10	金		
11	土		
12	日		
13	月	地域協働コンソーシアム検討会・運営指導委員会（午後）	
14	火	↓学年集会	
15	水	こころのスキルアップ講話⑥限	
16	木	校内漢字テスト② 非行薬物乱用防止教室⑥限	
17	金	身体計測	
18	土	実用英語検定 進研記述模試，進路マップ（3年）	進研模試（1・2年）
19	日	進研記述模試（3年）	
20	月	A L T 来校 就職模試（3年）	
21	火		
22	水		
23	木	海の日	
24	金	スポーツの日	
25	土		
26	日	第２回竹林整備（そうめん流し）→中止	
27	月	月①②限授業 クリーン愛媛運動③④限（雨天時：月①～④限授業）	体育大会実行委員会
28	火	火①～④限授業	↑保護者懇談会
29	水	水①②⑤⑥限授業	
30	木	木①～④限授業	
31	金	終業式 H R 活動 グループ結団式	↓人権委員現地研修会

<お知らせ>

7月26日（日）に予定しておりました竹林整備（そうめん流し）は，新型コロナウイルス感染拡大防止のため，中止となりました。ご了承ください。